

# バレーボール大会等の再開に当たっての感染防止ガイドライン Ver.3

大阪中学校体育連盟バレーボール専門部  
2022年4月2日

本ガイドラインは、大阪中学校体育連盟「主催大会開催にかかる感染拡大予防ガイドライン」及び、日本スポーツ協会、日本バレーボール協会から出されたガイドラインを基に大阪中学校体育連盟バレーボール専門部として、大会に関わるすべての人(選手・指導者・保護者・役員等)の生命・健康の安全を最優先に、感染拡大のリスクを最大限に排除し、過去に戻るのではなく「新しい生活様式」にあわせた大会が安全に開催される環境を提供するために必要な対応を踏まえた上で作成されたものである。

## 基準

- ①国が緊急事態宣言を発令した場合やまん延防止等重点措置の区域に指定された場合、または府独自の緊急事態宣言等の発令やイベント開催の自粛などが要請された場合。
- ②各市町村、大阪中体連からの指示があった場合。
- ③その他、新型コロナウイルス感染症に起因する事象により大会の開催が困難であると判断される場合。

## 大会の開催は見合わせる

- ◆開催の可否については、専門部企画委員会が中心となり、競技の特性(閉鎖的空間で行うなど)を考慮し、府全体でできるだけ不公平感のないよう判断する。
- ◆大会に限らず、本専門部が行う会議・講習会・選考会・壮行会など、すべての事業に適用する

## 1 基本的な感染症予防の徹底

- ・マスクは必ず着用すること（プレー中ははずしてもよい）
- ・こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること
- ・3密の回避
- ・換気の徹底
- ・入館時の健康チェック（検温や手指消毒の実施）
- ・館内での食事は控える

## 2 大会参加について

### ①大会参加確認書の作成、提出

- ・生徒の参加は任意とし、保護者の同意が得られていること。（同意書はチームで集め保管する）
- ・体調等が記載された大会参加確認書(別紙)を作成し必ず提出する。
- ・確認書 会場校⇒競技委員長⇒専門委員長・地区責任者（2ヶ月保管）

### ②IDカードや名札などを利用

- ・基本となる様式は配布する。（印刷作業は各チームで行ってください）



### ③会場校は使用許可願を提出

### ④健康観察

以下の場合、大会への参加は見合わせる

- ・試合当日、体調がよくない場合(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
- ・新型コロナウイルス感染者あるいは濃厚接触者であり、試合当日も静養期間中である場合
- ・PCR検査等を受け検査結果が出ていない場合
- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ・所属校が新型コロナウイルスの感染による臨時休業期間中の者

- ・会場にて発熱や風邪症状が認められた場合は速やかに帰宅させる対応をとること。  
学校(顧問等)からの連絡が常にとれるよう、迎えにきていただくなどの協力体制を整えておく。（緊急連絡先の把握）

### ⑤参加人数・観戦者

- ・体育館での1コート(フリーゾーンを含む)当たりの目安の人数は最大50名。
- ・参加人数については、感染状況を見て大会ごとに判断する。
- ・観客については、大阪中体連、各市町村の指導の下、感染状況や社会情勢をみて判断する。

大会会場に居るすべての人を把握してください

## 3 競技運営について

### ① 1会場につき4チーム、1日の1チームあたりの最大試合数は2試合を基本とする。

- ・大会は半日で行う（午前・午後の2部制は可とする。）
- ・会場内には当該チームのみとする。
- ・4チームのリーグ戦(1チーム3試合)を行う場合は、試合間を十分とり、選手の健康面を最大限に考慮した設定を行う。（昼食の指導をしっかりと行う。）
- ・試合間を十分にとり、換気・消毒等をしっかりと行った上でチームの入れ替えを行う

### ②全体を集めての開会式、閉会式、開始式は控える。

- ・顧問(1名)とキャプテンを集めて競技・審判・会場の注意を行う。
- ・大会の開会式、閉会式は最小限の人数で行う。

### ③あいさつ・コイントス・試合前後の整列

- ・握手は控え、一礼にとどめる

### ④ミーティング・タイムアウト

- ・ミーティング(タイムアウト時含む)は密にならないよう距離をとる。  
\*選手が距離をとった結果、サイドラインを越えてコートに入ることは許される。

### ⑤ベンチ、ウォームアップエリアでの選手・スタッフ

- ・選手、ベンチスタッフはいすに座りマスクを着用する。（ウォームアップエリアでの密を避ける）
- ・競技交代の前にウォームアップエリアで準備を行う。

### ⑥チェンジコート

- ・チェンジコートは行う。（大会によって判断する）
- ・チェンジコート時の消毒は、移動後のベンチを当該チームで行う。

### ⑦ハイタッチ・プレー時の声

- ・ハイタッチは腕タッチ程度にとどめ、集まって喜ぶことを控える
- ・大きな声でのプレー、ネット越しの会話は控える。

### ⑧応援

- ・大きな声での応援は自粛し、間隔を開け、密を避ける
- ・応援は拍手等にとどめ、鳴り物やメガホンは使用しない  
\*電子ホイッスルを使用する場合、音量が小さく聞こえずらい

### ⑨器具・用具の使い方

- ・使い捨てのゴム手袋を使用するなど、感染の防止に努める。
- ・複数でのフラッグ・モップの使用を控える

### ⑩審判・生徒役員

- ・審判、生徒役員はマスクを着用する。（熱中症対策を十分に行う。）
- ・電子ホイッスルの使用を認める。

選手・スタッフの体調を第一に考えた競技運営